

## 【水の作文大賞】

### 「水の大切さ」

熊本信愛女学院中学校 一年 大塚 麗穂音

私の住んでいる阿蘇はとても、水が豊富な所です。滝や水源もありいろんな場所に湧水もあります。家の敷地内に井戸水がある家もそんなにめずらしくない所です。こんなに、水が豊富な所なので稲作も盛んです。田植えの時期になるといろんな所で湖みたいな景色が見れます。

しかし、熊本地震から二年が経ってもまだ田んぼに水がはれない所がたくさんあります。その理由は、田んぼの地割や水路の損傷です。今でも、田んぼの中に大きなショベルカーやブルドーザーが入って田んぼの修復が懸命に行われています。私の家があった裏の水路も今工事が始まったばかりです。壊れた、水路の先にある田んぼは、ずっと水が流れなかったので、お米は作れなかったそうです。

私の家は地震の時に家が、全壊する被害を受けました。私の家にも、井戸水がありました。地震の影響で止まってしまいました。水道水も、もちろん断水していましたが、近くに山の方から引いてきた水があったのでそれを毎日汲みに行っていました。家族四人が使う生活用水は思ったより多くて、一日に二回以上よく汲みに行く事もありました。その時思ったのは、水が出ている場所からホースか何かでここまで引けないかなと思いました。毎日当たり前のように蛇口をひねれば水が出ていた事に感謝しました。田んぼに水を送っているのも似ているなと思いました。水が湧いている所から高低差を利用して水を送ったりポンプで水を汲み上げて、送ったりいろんな方法で広い水田に水を送っているんだなと思いました。

今回の熊本地震でいろんな事に気付かされました。普段当たり前のように使っていた水も自分達がいる所まで、水を送っている方法や今まで気にもしなかった、家の裏の用水路がたくさんある田んぼに水を送っている事、普段当たり前のように出ている水は当たり前ではない事。今までの生活は、とても幸せで恵れていることや水が出ることのありがたさな

どをこの地震で改めて実感できました。この地震では、たくさんの方が大切なものをなくしました。けれど、それと同時に私はたくさんの方を感謝し、気付くことができました。私は、たくさん経験した中で自分がどれだけ水について無関心だったことがすごく恥ずかしいです。今までの生活に甘えてばかりだったことにも腹が立ちました。水がなくなると不便になるなどあまり考えたことがなく、普通に水の出しっぱなしや無駄使いをしていた自分が許せません。節水や使い回しは、その時から誰でもできたはずなので、この経験で水への意識を高めようと思いました。熊本地震で私は家などなくて悪いことばかりだと思っていたけれど、たくさん学べたので良い経験になったと思います。なくしたものは、もどすことは、できないけれど、この地震で学んだことはきつとこの先、役に立つので、これからいろんな人に伝えていけたらなと思います。